

新型コロナウイルス感染症の臨床経過に関わる因子の解析 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年5月12日～2022年3月31日

〔研究課題〕

SARS-Cov-2 感染症の臨床経過に関わる因子の解析

〔研究目的〕

新型コロナウイルス(SARS-Cov-2)はコロナウイルス科に属するウイルスで、2019年に初めて確認されて以降、世界的流行を認めています。SARS-Cov-2はヒトに感染後、無症状から重症肺炎まで多彩な症状を引き起こします。生活習慣病の有無が重症化に関連すると言われてはいますが不明な点が多いです。今回の研究ではSARS-Cov-2感染症によって入院された患者さんで、入院中に採取された血清・尿・体液を利用し、生活習慣病に関わる因子をはじめとする項目を測定します。SARS-Cov-2感染症で入院された患者さんの経過と、それらの値に関連性があるかどうかを調べます。

〔研究意義〕

現在世界的流行を認めているSARS-Cov-2感染症は人によって無症状から重症肺炎まで様々な状態になります。しかし、その原因はよくわかっていません。重症化する因子や、軽症で済む因子を特定することができれば、SARS-Cov-2に気を付けるべき人達などが分かるようになり、予防対策の改善や死亡率の低下に繋がる可能性があり、有意義な研究と考えられます。

〔対象・研究方法〕

帝京病院医学部附属病院にSARS-Cov-2感染症のため入院した患者さんを対象とします。通常診療の範囲内で採取された血液、尿・体液のうち余ったもの保管し追加の項目を測定します。この研究のために、不要な採血や尿の採取をすることはありません。予定症例は200例とします。18歳未満の患者さんは除外されます。また、すでに診療の範囲内で測定されている項目については、診療録より検査値を収集し解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に関わる成果は、他の関係する方々に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの血液・尿検体や診療情報・データは、分析する前に氏名などの個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において厳重に保管します。

〔その他〕

今回の研究に必要な費用について、あなたに負担を求めることはありません。また、あなたへの謝金はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：内科学講座 講師若林義賢

研究分担者：微生物学講座 准教授 吉野友祐・内科学講座 病院教授 北沢貴利

所属：帝京大学医学部内科学講座(北沢・若林)、微生物学講座(吉野)

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 7582〕